

信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群術前後評価におけるマット検査指標(RDI および努力呼吸時間)の臨床的有用性の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群術前後評価におけるマット検査指標(RDI および努力呼吸時間)の臨床的有用性の検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
研究責任者(職名)	工 穰(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2028年3月31日
研究の意義、目的	本研究は、小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSA)に対する手術前後の評価において、非侵襲的に実施可能なマット検査で得られる指標(RDI および努力呼吸時間)が、標準的検査であるポリソムノグラフィー(PSG)の指標とどのように関連するか、また術前後でどのように変化するかを明らかにし、より簡便な術後評価法の確立に寄与することを目的としています。
対象となる方	2021年4月1日から2025年3月31日の期間に当院で小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断され、アデノイド切除術および／または口蓋扁桃摘出術を施行された方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、PSG 検査結果(AHI 等)、マット検査結果(RDI、努力呼吸時間)、OSA-18 スコア、Brodsky 分類、Parikh 分類等
研究方法	過去の診療記録より上記の情報を収集し、マット検査指標とPSG指標との関連および術前後の変化について統計学的手法を用いて相関解析、群間比較、術前後比較等を行います。本研究は既存の診療情報のみを用いるため、新たな侵襲や不利益はありません。また、研究参加による直接的な利益はありませんが、小児 OSA の診療向上に寄与する可能性があります。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 担当者:河北 真幸 電話:0263-37-2791

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。